

すずしろ

～開拓・発展・完成～

10月 第7号
平成28年10月17日
開進第四中学校だより
校長 新村 紀 昭

学校評価(中間評価)

の結果について

アンケートへのご協力ありがとうございました

衣替えの時期を迎え、いよいよ実りの秋の季節が訪れました。本校では「読書の秋」ということで、読書週間も始まっています。

さて、7月に実施いたしました生徒の自己評価・授業評価と保護者アンケート(中間評価)ですが、本アンケートには全家庭の73%という多くの保護者の皆様からご回答をいただき、また、個々なご意見をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見すべてにお答えすることはできませんが、アンケート結果を掲



修学旅行(原爆ドーム)

載し、今後の取り組みについてご報告します。今後とも、保護者や地域の皆様のご意見を傾聴しながら、よりよい開進第四中学校をつくらせたいと考えております。

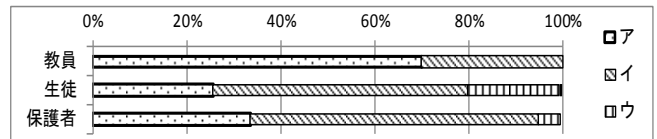
年度末には2回目のアンケート調査を実施いたします。よろしくお願い申し上げます。

平成28年度 前期 生徒・保護者・教員 中間学校評価

ア. そう思う イ. ややそう思う ウ. あまりそう思わない エ. そう思わない 下段は保護者自由意見

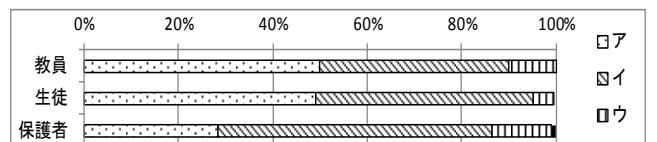
		ア	イ	ウ	エ
1. 本校では、落ち着いた雰囲気の中で授業が行われていると思いますか。	教員	14	6	0	0
	生徒	82	173	62	2
	保護者	78	142	11	1

学年・学級により差はあるもの概ねよいという評価でした。工夫して興味をもたせる授業がある反面、集中できない生徒へ指導してほしいとの意見もありました。



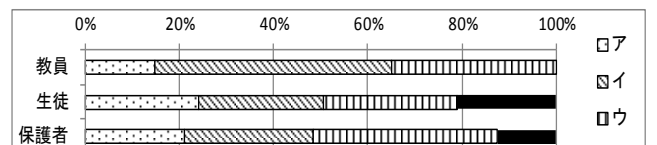
		ア	イ	ウ	エ
2. 本校は、生徒の基礎学力を定着させるための取組を適切に実施していると思いますか。	教員	10	8	2	0
	生徒	156	147	14	1
	保護者	65	133	29	2

概ねよく取り組んでいるという評価ですが、習熟度別に課題の難易度を変えてほしい、個別指導を充実させてほしいとの意見もありました。



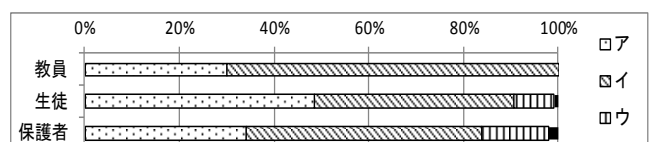
		ア	イ	ウ	エ
3. お子様の家庭学習の時間は、年度当初より増えたと思いますか。(教員: 増えるように努力しているか)	教員	3	10	7	0
	生徒	77	84	90	67
	保護者	49	64	91	29

生徒自身が意欲を失っている、生徒本人の自覚の問題という意見や、部活動との両立が難しく時間が取れていないとの意見もありました。



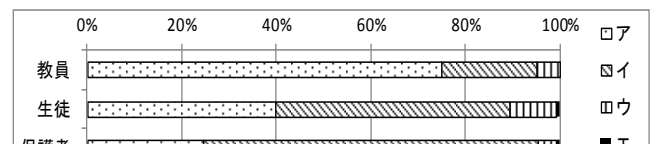
		ア	イ	ウ	エ
4. 本校の生徒は、よくあいさつができると思いますか(教員: あいさつできるよう指導しているか)	教員	6	14	0	0
	生徒	155	134	27	3
	保護者	80	116	33	5

どの生徒も気持ちよく挨拶してくれるという意見がある反面、挨拶をする生徒としない生徒が極端、年々挨拶する生徒が減ってきているとの意見もありました。



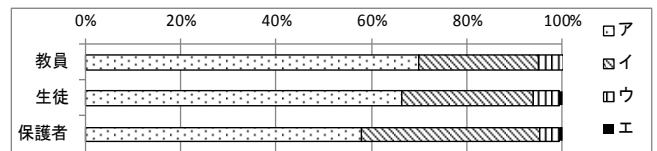
		ア	イ	ウ	エ
5. 本校の生徒は、ルールを守り、規律ある生活を送っていると思いますか(教員: 送れるよう指導しているか)	教員	15	4	1	0
	生徒	127	157	31	3
	保護者	57	164	9	2

概ね守られているとの意見でしたが、生徒の一部に携帯電話を手に下校している姿を見かけたとの情報をくださったご意見もありました。



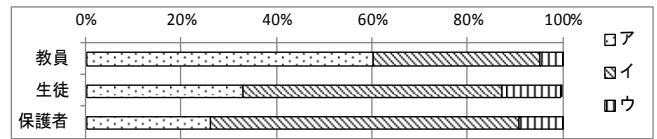
		ア	イ	ウ	エ
6. お子様は、友人と仲良く、楽しく充実した学校生活を送っていると思いますか。(教員:送れるよう指導しているか)	教員	14	5	1	0
	生徒	212	88	17	2
	保護者	135	87	10	1

学校が楽しいと毎日元気に通学している、部活に塾にハードな毎日だが楽しく生活できているという意見が多い中、デリカシーのない生徒がいるとの意見もありました。



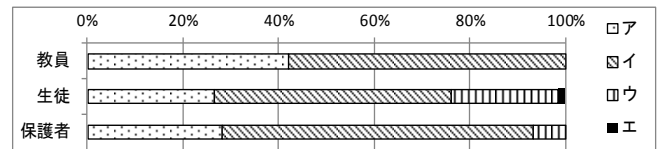
		ア	イ	ウ	エ
7. お子様は、相手の立場に立って考えたり行動したりすることができるようになったと思いますか(教員:指導しているか)	教員	12	7	1	0
	生徒	105	173	39	2
	保護者	61	151	21	1

自由意見はありませんでした。グラフからは概ね相手を意識した言動ができる生徒が多いという評価ですが、相手への配慮がない言動をする生徒が一部いることが伺えます。



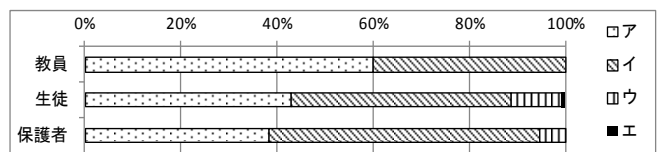
		ア	イ	ウ	エ
8. 本校は、生徒に校内の美化・環境整備に適切に取り組ませていると思いますか。(生徒:取り組んでいるか)	教員	8	11	0	0
	生徒	84	158	71	5
	保護者	65	149	16	0

自由意見はありませんでした。グラフからは概ね生徒は美化に努めているという評価ですが、生徒の一部は掃除などに十分取り組めていないことが伺えます。



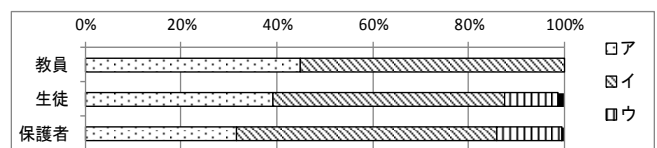
		ア	イ	ウ	エ
9. 本校は、生徒に安全・防災(避難訓練など)に適切に取り組ませていると思いますか。(生徒:取り組んでいるか)	教員	12	8	0	0
	生徒	136	146	33	3
	保護者	89	131	13	0

自由意見はありませんでした。グラフから概ね避難訓練に真剣に取り組んでいるという評価ですが、生徒の一部はしっかり取り組めていないことが伺えます。



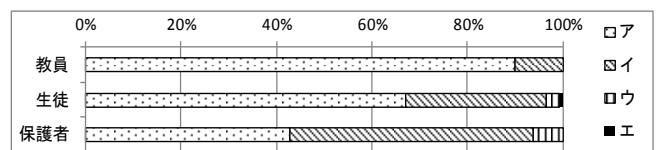
		ア	イ	ウ	エ
10. 教員は、お子様の話を良く聞き、困った時には相談にのっていると思いますか。	教員	9	11	0	0
	生徒	125	154	35	4
	保護者	73	126	31	1

担任、相談室、スクールカウンセラーが丁寧に対応してくれるとの意見がある反面、教員によって個人差があるとの意見がありました。



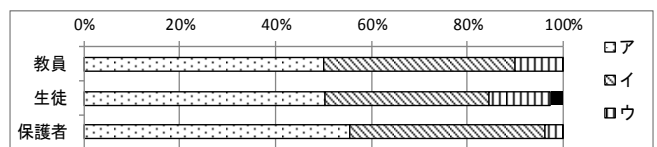
		ア	イ	ウ	エ
11. 教員は、お子様が悪い事をした時にはきちんと叱って指導していると思いますか。	教員	18	2	0	0
	生徒	212	93	9	2
	保護者	98	117	14	0

担任の先生を信頼して任せているという意見や、悪いことをしたら家庭に連絡し指導させるべきだとの意見、もっと厳しく指導してほしいという意見もありました。



		ア	イ	ウ	エ
12. 本校は、学校だよりや学年・学級だより、ホームページ等で学校の様子を積極的に知らせていると思いますか。(生徒:持ち帰っているか)	教員	10	8	2	0
	生徒	159	108	41	8
	保護者	131	96	9	0

ホームページの更新がほぼ毎日あるので楽しみにしているとの意見など肯定的な評価をいただきました。



今後の取組について

1 学習環境について

生徒アンケートでは、89%の生徒が「真剣に授業に参加している」と回答し、保護者アンケートでも34%は、教室の雰囲気が「落ち着いている」と回答、「どちらかと言えばそう思う」を合わせると、95%でした。今後も学習規律の指導や個別指導の機会、管理職等による授業観察などの充実を図ってまいります。

また、11月から校庭の改修工事本格化し、校庭が全面的に利用できなくなりますが、保健体育科の授業は年度当初に年間指導計画を変更しており、体育館や武道場、城北公園でできる内容になっています。

2 基礎学力の定着に向けた取組や授業について

85%以上の生徒・保護者の方から取り組んでいるとの評価をいただきました。基礎学力の定着に向けては、朝授業や小テストだけでなく定期テスト前には補充教室や質問教室等を実施しています。が、学力には個人差があり成果が出にくい生徒もいます。保護者アンケートでは個々の生徒に声をかけてほしい、授業がわかりにくい教員がいるとの意見もありました。個別支援については各担任がデイリーノート等をとおして個々の生徒の学習状況を把握し、アドバイスしています。アンケート結果では、家庭学習の習慣化が図られていない状況もあり、部活動もテスト前には時間短縮をする等の配慮をしています。ご家庭でもご指導をよ

ろしく願います。教員の指導力向上については、校長・副校長が授業を観察し指導するとともに、生徒による授業評価結果を教員に配布し、授業改善を求めています。昨年度から分かる授業を目指し、①毎時間の学習目標を明確にする、②生徒が考える場面をつくる、③生徒同士が交流する場面をつくる、④学習目標の到達度を確認する、の4点を大切にして指導することとしています。今回のアンケートを参考に、各教員の指導力向上、授業改善にさらに努めてまいります。

3 学校生活・生活指導について

90%以上の生徒が「充実した学校生活を送っている」「どちらかといえば送っている」と回答しましたが、「ルールを守る」や「相手の立場を考えた言動ができる」と明確に回答した生徒は30～40%にとどまっており、さらに指導が必要だと考えます。規範意識の育成とともに「いじめは絶対に許せない人権侵害である」との認識に立ち、生徒一人一人がお互いの人権を大切にする指導と、速やかな対応を続けます。

また、保護者アンケートでは下校時に携帯電話等を持った生徒がいたとの情報をいただきました。本校では不要物を見つけた場合、本人を指導して預かり保護者へ返却する方法で指導しています。ご家庭でも通学用カバンの中身等についてご指導ください。さらに、「あいさつ」は生徒の48%が「している」と回答しましたが、保護者アンケートでは34%にとどまっています。今年度は小中一貫教育の取組として、開進四小、仲町小と一緒にあいさつ運動に取り組みます。あいさつや言葉遣いについて様々な教育活動の中で時と場に応じた指導をしますが、ご家庭でも積極的にあいさつを交わすなど日常的な取組をよろしく願います。

4 美化活動・安全指導について

保護者アンケートでは「どちらかと言えばやっている」を含め93%でしたが、生徒は75%でした。仮設校舎だったためやや意欲が低かったかもしれませんが、新校舎ではいつまでも新しいきれいな状態を維持しようと指導しています。安全指導・避難訓練も同様に新校舎の避難経路に基づき、月1回の訓練と安全指導の実施を徹底します。今後も地域と連携して充実を図ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

5 教育相談の充実について

教育相談については、昨年同様13%の保護者が不十分だと感じているようです。また、保護者自由意見では教員によって個人差があるとの指摘もありました。本校は相談室での相談活動も含めて、いつでも誰でも相談を受ける学校体制ですが、今後も相談しやすい雰囲気作りに努め、相談活動を進めてまいります。

6 教員の生徒指導力について

多くの生徒・保護者の方から悪いことをしたときにはきちんと指導しているとの評価でしたが、生徒の立ち歩きへの対応や不適切な言葉かけをした教員がいるなど、ご心配をおかけしています。教員が身に付けるべき生徒指導の在り方や生徒に対する人権感覚については繰り返し指導してまいります。

7 学校だよりなどの情報について

約90%の生徒・保護者から各種のたよりやお知らせを持ち帰っている、情報を公開しているとの評価をいただきました。今後も個人情報の管理に努めながら学校情報の発信に努めて参ります。

◆その他、個別的なご意見については本校ホームページで考えをお示ししますので、ご覧ください。

練馬区中学校陸上競技大会（9月23日）in 駒沢陸上競技場

9月23日（金）平成28年度練馬区中学校生徒総合体育大会・陸上競技大会が駒沢オリンピック公園の陸上競技場で開催されました。本校からは陸上部を中心に男子23名、女子21名、計44名の生徒が選手・運営補助員として参加し、昨年度に引き続き男女総合6位の成績を収めました。校舎改築で狭いグラウンド、8月下旬からの天候不順等の影響で思うように練習が進まない時もありましたが、先生方の熱心な指導と最後まであきらめずに粘り強く戦った皆さんの姿勢が、好結果に結びついたと思います。



本当におめでとうございました。「百里の道も一歩から」地道な積み重ねが大きな実を結びます。これから

も、様々な分野で開四中生の頑張る姿を期待しています。最後になりましたが、応援や警備のためにご協力いただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。

◆練馬区中学校生徒総合体育大会 陸上競技大会結果 ◇ 男女総合 第6位

■男子 総合第5位

- | | |
|--|----------------------------|
| ◇共通 200m 走 第5位 米山 真矢 | ◇共通 800m 走 第8位 山内 喬雄 |
| ◇1年 1500m 走 第6位 印南 佐介 | ◇3年 3000m 走 第6位 松舘 登志朗 |
| ◇1年 100mH 第1位 鈴木 響 | ◇3年 110mJH 第1位 鈴木 柚二 (大会新) |
| ◇3年 走高跳 第3位 菅野 裕斗 | ◇1年 走幅跳 第7位 石黒 和 |
| ◇1年 400m リレー 第1位 鈴木 響・島村 尚希・長谷川 超・印南 佐介 | |
| ◇共通 400m リレー 第8位 尾本倫太郎・米山 真矢・鈴木 柚二・白川 大晟 | |

■女子 総合第10位

- | |
|------------------------|
| ◇共通 1500m 走 第8位 板倉 香々葉 |
| ◇1年 100mH 第2位 青木 真琴 |
| 第7位 安藤 穂乃花 |
| ◇3年 100mYH 第6位 吉田 菜々美 |
| ◇1 2年 走高跳 第5位 横田 華 |
| ◇3年 走高跳 第3位 小倉 利華 |



第三学年 修学旅行 (9月25~27日) in 広島・京都 学年主任 阿久津繁男

9月25日(日)、天気は大丈夫だろうという安易な考え方で広島に向かいました。車窓から外の風景を見ても、とりあえず心配はありませんでした。ところが広島に着いたとたん雨が降り出し、最悪な修学旅行のスタートになってしまいました。しかし、そんな中での見学でしたが、現地の大学生とともに見学に回る生徒達の目は真剣でした。この地で何があったのか、自分達の目でしっかりと捉えようとしてくれていました。入学以来、修学旅行での目的地を広島に設定をして、様々な取り組みをしてきました。平和とは何だろう、平和な世の中を維持していくためには何が必要なのか、この日本で何が起こったのか、いろいろなことを考えました。そしてそのまとめとして広島を訪れました。真剣なまなざしで見学する生徒の姿を見て、ここに来て良かったと思いました。雨の中の見学は確かに大変でした。しかし、その雨が教えてくれたこともあり、「私たちの雨は黒くなかった。」生徒の感想です。原爆投下後に降った黒い雨と比較をしたのでしよう。そんなことが思い浮かぶ生徒に成長してくれました。とても嬉しく思いました。

2日目も午前中は雨に降られてしまいましたが、世界遺産である宮島・厳島神社を見て、その厳かな雰囲気圧倒された人もいたようです。海に浮かぶ鳥居は幻想的でした。そして午後からは京都に移動して京都市内の班別行動、金閣寺の金色に輝く姿に、写真とは比べものにならない感動を覚えた人が多かったようです。班の仲間とルール、マナーを守って一生懸命行動したようです。初日の広島とは全く違った風景に、歴史の重みを感じるとともに、あらためて平和を実感することができたのではないのでしょうか。

現在、事後学習に取り組んでいますが、1年生から取り組んできた修学旅行への取り組みは一旦終了です。しかし、これが始まりだと生徒には話しています。今回自分達が学んできたことを、今後どのように活かしていくかが重要です。どんな形で生徒達が、自分の経験を活かしてくれるかとても楽しみです。



原爆の子像 (大学生との交流)



厳島神社



京風すき焼き



友禅初め体験学習